

施策と予算

平成20年度の当初予算が、第2回市議会定例会で決まりました。「日本の宝島、天草」の創造」をまちづくりの理念とする第1次天草市総合計画の本格的な実行に向けて、「豊かな産業づくり」「魅力ある観光地づくり」など6つの重点事項を掲げ、予算を編成しています。

今月号では、平成20年度の施策と予算、主な事業について紹介します。（※金額は万円未満を四捨五入）

一般会計

一般会計の予算額は494億6,760万円、前年度と比べると11億7,360万円（2.4%）の増加となっています。

歳入

歳入は、市税や使用料・手数料など、市が自主的に収入できる「自主財源」と、地方交付税や国・県の支出金、国や金融機

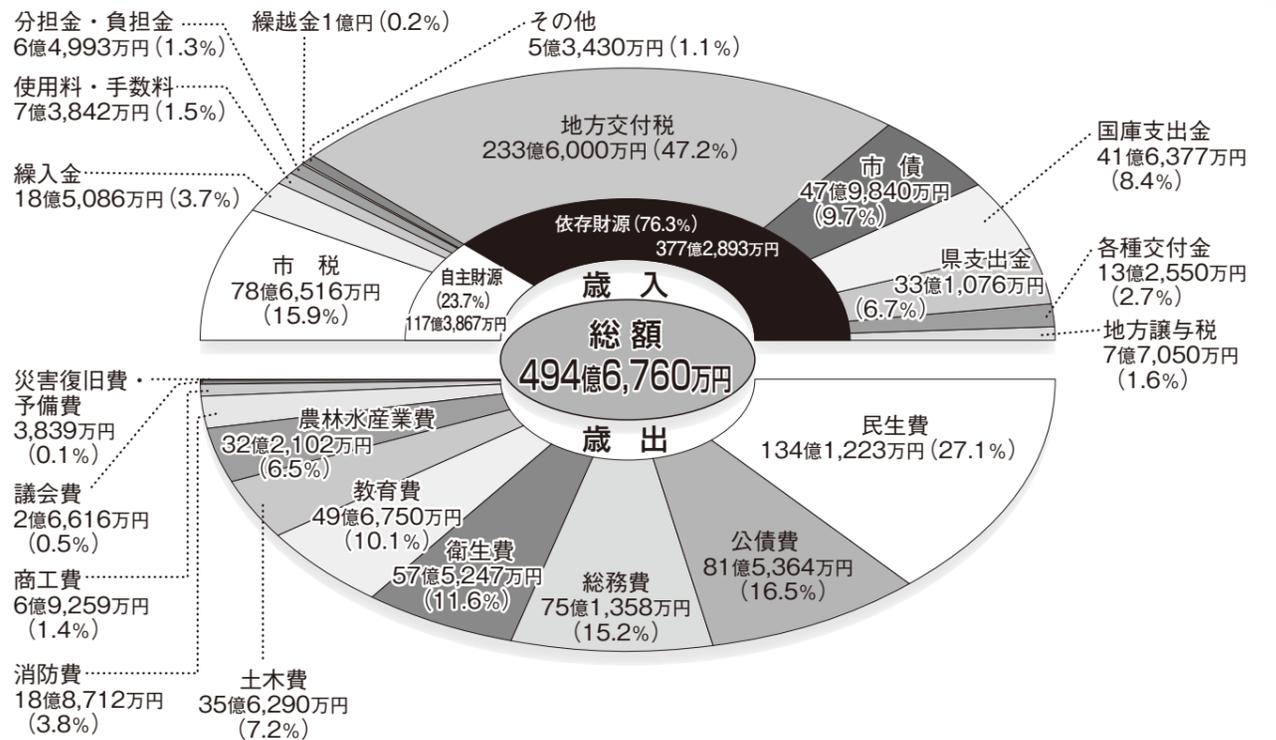
関などから借り入れる市債などの「依存財源」に分けられます。

平成20年度の自主財源は、117億3,867万円、歳入総額に占める割合は23.7%（前年度25.0%）となっています。

一方、依存財源は377億2,893万円、歳入総額に占める割合は76.3%（同75.0%）となっています。

※一般会計予算の内訳は下グラフのとおりです。

一般会計予算の内訳



特別会計の予算額

区分	平成20年度	前年度比較	増減率
国民健康保険	139億4,004万円	▲11億7,023万円	▲7.7%
老人保健医療	15億7,425万円	▲157億5,198万円	▲90.9%
介護保険	87億7,893万円	▲1億3,466万円	▲1.5%
後期高齢者医療	12億1,726万円	12億1,726万円	—
公共下水道事業	18億2,983万円	3億3,609万円	22.5%
特定環境保全公共下水道事業	5億4,391万円	9,791万円	22.0%
農業集落排水事業	6,361万円	▲499万円	▲7.3%
漁業集落排水事業	10億2,749万円	▲1億2,756万円	▲11.0%
浄化槽市町村整備推進事業	1億8,705万円	▲2,845万円	▲13.2%
簡易水道事業	21億 530万円	4億7,971万円	29.5%
国民健康保険診療施設	1億8,424万円	679万円	3.8%
歯科診療所	4,592万円	18万円	0.4%
国民宿舎	廃止	▲1億 713万円	—
埠頭事業	1,462万円	▲3万円	▲0.2%
斎場事業	1億1,168万円	▲16万円	▲0.1%
一町田財産区	320万円	39万円	13.9%
新合財産区	73万円	▲1万円	▲1.4%
富津財産区	15万円	▲1万円	▲6.3%
合計	316億2,821万円	▲151億8,690万円	▲32.4%

※▲=マイナス

企業会計の予算額

区分	平成20年度	前年度比較	増減率	
病院事業	収益的収入	35億1,880万円	▲1億3,155万円	▲3.6%
	収益的支出	35億1,880万円	▲1億3,155万円	▲3.6%
	資本的収入	2億5,107万円	8,529万円	51.4%
	資本的支出	4億 119万円	1億1,719万円	41.3%
水道事業	収益的収入	15億1,703万円	953万円	0.6%
	収益的支出	14億9,192万円	1,547万円	1.0%
	資本的収入	4億4,611万円	1億1,794万円	35.9%
	資本的支出	12億7,938万円	1億5,855万円	14.1%

※▲=マイナス

歳出

歳出は、使われるお金の目的によって、民生費や総務費など12項目に分けられます。

今年度の予算で最も大きな割合を占めているのは民生費（27.1%）です。民生費とは、お年寄りや障がいのある人に対する福祉の充実、子育て環境の充実などに使われる費用です。

これに続いて、公債費、総務費、衛生費、教育費、土木費の順になっています。

なお、4〜10ページで主な事業とその予算額を6つの重点事業として紹介しています。

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に一般会計の歳入歳出と区分して会計処理をするために設置するもので、その設置は法律や条例で認められています。

本市では、国民健康保険や老人保健医療、介護保険、公共下水道事業など17の特別会計を設けています。

なお、平成20年度から後期高齢者医療特別会計を新設し、国民宿舎特別会計は廃止しました。※それぞれの予算額は上表のとおりです。

企業会計

企業会計は、商店や会社などの民間企業と同じように、その事業で得た収入をもって支出をする独立採算制の会計で、地方公営企業法により設置しているものです。

本市では、病院事業と水道事業を企業会計で処理しています。※それぞれの予算額は上表のとおりです。